取扱説明書

TMS-802

8入力2出力

ビデオマトリックススイッチャー



注意事項

- ご使用になる前に本マニュアルをよくお読み下さい。また、設置される際には、本マニュアルをお手元にご用意ください。
- 本製品は、技術スタッフによる適正な設置をお願いしています。設置にあたっては、製品販売員か製造元にご依頼ください。必要に応じてお客様によりカバーを 開けられる場合は、本マニュアルに従い細心の注意を払って行ってください。
- 本マニュアルに従って、機器の配線を行ってください。
- 配線用のケーブルには、使用済みのケーブルや古いケーブルを使用しないでく ださい。安全な運用をお約束できません。
- 火の元の近くや、その危険のある場所でのご使用や保管は避けて下さい。
- お子さんや機器の使用に慣れていない人に使用させないで下さい。
- 設置の際は、本体はしっかりと固定してください。
- ケーブルの配線を変更する場合は、電源が切れていることを確認してから行ってください。
- アフターサービスは、弊社の専門スタッフが行います。
- 設置後はいつでも本マニュアルを参照できるよう大切に保管してください。

[更新履歴]

このマニュアルは3Dの製品であるビデオマトリックススイッチャー TMS-802の設定、操作についての内容です。製品特徴や注意事項を 熟知し大切に保管して下さい。

全ての設定は予告なく変更する場合があります。本書に記載されてい る内容については保障しますが、第三者の権利侵害に関していかな る責任も負いません。

━━ お問合せ先

株式会社スリーディー 画像通信システム事業部 154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー17F TEL. 03-5431-5971(代) FAX. 03-5431-5970 http://www.3d-inc.co.jp/ E-mail:info@3d-inc.co.jp

Manual Version 1.0 株式会社スリーディー 2012 年 6 月

1. はじめに
1-1 梱包品
1-2 マニュアルについて
1-3 記号の意味
1-4 安全のために
1-5 製品ラベル情報
2. 製品の特徴4
2-1 特徴
2-2 接続可能な製品
3. 設置4
3-1 はじめに
3-2 設置例
3-3 電源を入れる
3-4 設定
3-5 接続端子と結線
4. マトリックスの操作10
4-1 ビデオ入力管理
4-2 アラーム設定
5. OSM(オンスクリーンメニュー)設定12
6. キーボードとスイッチング機能16
7. メンテナンス17
 トラブルシューティング
9. 製品仕様19

目次

1. はじめに

1-1 梱包品

以下の製品が同梱されているかお確かめください。

マトリックス本体	1 台
電源アダプター	1個
モジュラーケーブル(1.5m)	2 本
RJ 分岐ボックス	2 個
マニュアル	1部
D-SUB15pin コネクタ	1個

1-2 マニュアルについて

本マニュアルは、TMS-802 8 入力 2 出力ビデオマトリックススイッチャーについての 説明です。

設置・設定・操作・運用について記載しています。このマニュアルをよくお読みになって、製品を正しくご利用ください。

1-3 記号の意味

^	危険:
<u> </u>	電気ショックの危険があります。電源を抜いてから作業を行ってください。
٨	警告:
	システムの正常動作のために非常に大切作業です。記載事項をよく読んでから作
	業を実行してください。
\bigcirc	注意:
U	製品仕様に関する記述事項です。
	次のステップをよりよく理解するために本記載事項を注意深く読んでください。

1-4 安全のために

▲ 設置の際には、本マニュアルの冒頭に記載の注意事項をお読みになり、安全 に作業を実行してください。

1-5 製品ラベル情報

機器本体には、2つのラベルが張られています。

1つは製品モデルの情報(バーコード)、もう1つは製品のシリアル番号を記載しています。

設置の際には、製品本体の電源仕様と付属の電源仕様が適合していることを確認の上、電源を入れてください

2. 製品の特徴

2-1 特徴

このビデオマトリックススイッチャーは防犯監視システム用の業務用製品です。 リモートキーボードより、ビデオ映像のスイッチング(ビデオマトリックス)操作などを 行えます。

- ・ ビデオプラグラム設定
- 異なるシーケンス表示
- ・ VCRトリガー入力
- ・ リモートコントロールデバイス2系統対応
- ・ 各ビデオチャンネルに対応するアラーム入力
- ・ アラーム用警告ブザー
- 固定カメラのビデオマスキング
- ・ 本体キーボード(15キー)によるローカル操作
- ・ ビデオ終端抵抗設定可
- 2-2 接続可能な製品

キーボードコントローラー	TPS-SCTB/SCTK/SCTJ/SCTT
テレメトリーレシーバー	TPS-RM485/RT224/RT324

3. 設置

▲ 設置は、必ず専門の技術者が行ってください。

⚠️次の作業は、電源を入れる前に行う作業です。電源を入れないでください。

- 3-1 はじめに
- 3-1-1 開梱

製品パッケージが損傷していないかご確認ください。また、1-1 に記載の梱包品が 揃っているか確認してください。

製品のパッケージは、リサイクル可能です。行政で定められた処理方法に従って処分してください。

3-1-2 製品の確認

⚠ 設置作業の前に、お手元の製品がご要求の仕様どおりか確認してください。

4

いかなる状況であっても、製品本体に本マニュアルに記載のない加工を加えない でください。間違った作業により、人体への危害を与え、製品本体を損傷させる可 能性があります。





3-2-1 ケーブル

推奨するケーブルは以下のとおりです。

- --- 制御線: ツイストペアケーブル 2線 AWG24 (1200m まで)
- ※マトリックスからキーボードへ電源供給する場合は、4線(700m まで)
- ——— 映像線: 3C2V 以上
- ━━━━━ PTZ 制御線 : 複合多芯ケーブル
 - 7線:パンチルト用(右/左/上/下/オートパン/コモン/グランド)
 - 6線:極性反転レンズ用(ズーム/フォーカス/アイリス)
 - 4線:コモンワイヤーレンズ用(ズーム/フォーカス/アイリス)
 - 2線:補助装置用
- ※注意

複合多芯ケーブルは高電圧と低電圧ではそれぞれ下記以上の仕様のケーブ ルを使用してください。

- 高電圧用: AWG20 0.56m m パンチルトコントロール用など 低電圧用: AWG22 0.34 m m レンズや補助装置用
- 3-3 電源を入れる

🎢 電源を接続する前に、以下をご確認ください。

- ・ 使用する電源・電圧は正しいですか。
- ・ ケーブル結線は、正しいですか。他の機器が接続されていませんか。
- ・ 設置場所は、十分なスペースがあり、安定していますか。
- ・ 電源及び電源ケーブルは本体が必要とする電流量に対応していますか。

電源を入れる

付属の DC12V スイッチング電源アダプターを本体の電源ジャックに差し込みます。

電源を切る

本体から、電源アダプターのプラグを抜きます。

3-4 設定

3-4-1 カバーを開ける

⚠️設置は、必ず専門の技術者が行ってください。間違った作業により、人体への 危害を与え、製品本体を損傷させる可能性があります。

- 電源を抜いてください。
- マトリックス本体の背面にあるネジを外します。
- カバーを外します。取外したネジを失くさないよう、また、他の部品や本体 キーボードの結線が外れないように気をつけてください。
- ※カバーを元に戻す際には、上記の作業を逆の順番に行ってください。その際も 電源は外したままで行ってください。

3-4-2 DIP スイッチとジャンパ



プロトコル設定

ON Ļ

Dip Switch SW1	DIP	機能
ON 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1	DIP1, 2, 3, 4	キーボードとの通信プロトコル設定
	DIP5	使用しません(OFF)
	DIP6	使用しません(OFF)
	DIP7, 8	使用しません(OFF)

電源アダプターを抜いて、マトリックスの電源を切ります。

- 1.3-4-1 に記載のとおり、カバーを外します。
- 2. DIP スイッチを下記の表に従って、設定します。

3. カバーをして、ネジを締めます。

4. 電源アダプターをジャックに差し込み、マトリックス本体の電源を入れます。

注:マトリックスに電源が入った際に、DIP スイッチの設定変更が有効になります。

Dip sw	vitch				
1	2	3	4	Protocol and baud rate	Connected keyboards
OFF	OFF	OFF	OFF	Macro, 38400 baud (*)	current model keyboards
OFF	OFF	OFF	ON	Macro, 19200 baud	
OFF	OFF	ON	OFF	Macro, 9600 baud	
OFF	OFF	ON	ON	Macro, 1200 baud	
OFF	ON	OFF	OFF	Linxs, 9600 baud	old model keyboards
OFF	ON	OFF	ON	Linxs, 1200 baud	
OFF	ON	ON	OFF	Videotec switchers, 9600	
OFF	ON	ON	ON	baud	
				Videotec switchers, 1200	
				baud	
ON	OFF	OFF	OFF	Videotec OSM, 9600 baud	
ON	OFF	OFF	ON	Videotec OSM, 1200 baud	
ON	OFF	ON	OFF	Videotec SW328, 9600 baud	
ON	OFF	ON	ON		-
ON	ON	OFF	OFF	Invalid configurations	
ON	ON	OFF	ON	-	
ON	ON	ON	OFF		
ON	ON	ON	ON		

3-4-3 RS485 終端設定

RS485AUX ラインに 120Ωの終端抵抗を設定するには、J5を以下のように設定します。



A:外部機器が接続されている場合



B:外部機器を接続していない場合

3-4-4 ビデオ終端設定 75Ω

75Ωの終端抵抗を設定しない場合は、ジャンパの位置をBに合わせます。



(*)初期設定

TMS-802

3-5 接続端子と結線

3-5-1 マトリックス背面端子



・ アフーム I/O: D-Sub15PIN	・キーホート: RJ11×2
・ 外部ライン: RJ11×1	・DC12V 電源: DC ジャック
 ビデオ出力: BNC×2 	・ビデオ入力: BNC×8

3-5-2 D-Sub15PIN 定義

Pin	Connection	Use
1	Alarm input 1	Alarms
2	Alarm input 2	Alarms
3	Alarm input 3	Alarms
4	Alarm input 4	Alarms
5	Alarm input 5	Alarms
6	Alarm input 6	Alarms
7	Alarm input 7	Alarms
8	Alarm input 8	Alarms
9	GND	GND (alarms/ VCR trigger / reset Alarms)
10	NO Relay	Peripherals
11	Common Relay	Peripherals
12	VCR Trigger	Video cassette recorder
13	Reset alarms	Reset alarms
14	GND	GND (alarms/ VCR trigger / reset Alarms)
15	GND	GND (alarms/ VCR trigger / reset Alarms)

3-5-3 アラーム設定 上の表を参照してください。

1) アラームコンタクト

⚠️アラーム接点に電圧電流を印加させないでください。センサーは、ドライコンタクト

タイプのみ対応です。アラームを正しく作動させるためには、マトリックスのプログラ ム段階でアラームのパラメーターを正しく設定してください。

2) 外部接点(アラームリレー)

アラーム発生時、活性する外部接点(リレー)を制御することが可能です。外部接 点(リレー)の PIN は、DB10と DB11 番です。

3) 外部リセット

エラー動作等の際は、次の要領でシステムリセットをかけられます。

15 端子の 13PIN と 14PIN、 または 9、 15PIN をコンタクトします。

3-5-4 キーボードとマトリックスの接続

キーボードとマトリックス間の通信は、RS485 デジタルデータ伝送です。付属のモジュラーケーブルと中継 BOX を使用して、マトリックスとキーボードを接続します。キーボードとマトリックス間の距離が短い場合は、付属のモジュラーケーブル(約 1.5m)1本を双方の RJ11 端子に差し込み、接続してください。ビデオマトリックスの RJ 端子は、「KEYBOARDS」と記載のある端子に接続します。

キーボードコントローラーは、ビデオマトリックスから、DC12V 電源の供給を受けることも可能です。

各機器間の距離が長い場合は、付属の中継 BOX を使用し、4 芯ケーブルを以下の とおり、結線してください。



マトリックス側中継	вох	ケーブル	+	ーボード側中継 BOX
RX-485A	青		山	TX-485A
RX-485B	黒		黄	TX-485B
DC12V +	赤		緑	DC12V +
DC12V -	緑		赤	DC12 —

注:RS485 の伝送は、1200m までです。しかし、ビデオマトリックスからキーボードへ DC12V 電源を供給する場合は、700m までです。ただし、使用するケーブルの種類 によります。

1 台のキーボードには、ビデオマトリックス1 台のみ接続できます。ビデオマトリックス には RJ11 の端子が複数ありますが、同じ RJ11 端子を使用してパラレルで接続する ことはできません。他のキーボードに接続する場合は、異なる RJ11 端子を使用して ください。

- 4. マトリックスの操作
- 4-1 ビデオ信号の入力管理
- 4-1-1 オートシーケンス設定

オートシーケンスは、オペレーターがオートシーケンスグループに設定したビデオ入力 チャンネルを順番に設定した時間で切り替え表示していく機能です。

シーケンス表示は、下表のとおり、ステップA~Pの最大16ステップで構成されます。 (全てのステップに設定する必要はありません)

- ・ INPUT: 表示されるチャンネル番号
- ・ LENGTH: 表示される時間 1秒~300秒までの任意の秒数を設定します。

STEP	INPUT	LENGTH	説明
А	1	2	CH1 が 2 秒間表示されます
В	2	4	CH2 が 4 秒間表示されます
С	5	7	CH5 が 7 秒間表示されます
D		_	ステップ D はスキップされます
E	2	5	CH2 が再度 5 秒間表示されます
F		-	※ステップ F 以降に、何も設定されていない場
~			合、シーケンス機能は、自動的にステップ A に戻
Р			ります。

4-1-2 手動選択

キーボードから、オペレーターが直接表示するカメラを選択し、オートシーケンスを 中断することができます。選択したチャンネルは、有効になっているモニターに表示 されます。キーボードから複数のモニター操作が可能な場合は、最後に選択された モニターに選択したビデオチャンネルが表示されます。

TMS-SCTB は、全てのビデオ出力チャンネルを操作できます。

TPS-SCTJ は、各オペレーターに対して出力するビデオチャンネルを制限すること ができますので、許可を持たないオペレーターが全ビデオ出力を操作することを防 げます。 4-1-3 INC/DEC キーを使用する

「INC」/「DEC」キーは、オートシーケンス中に、任意の箇所で、次のチャンネルもしく は前のチャンネルを選択するのに使用できます。

- ・ 「INC」キー: 次のチャンネル
- ・ 「DEC」キー: 前のチャンネル

※ビデオ表示は、プログラムで設定したチャンネル順に沿って切り替わります。

4-1-4 VCR へのビデオ出力

VCR が利用可能な場合、ビデオ出力2番はVCRトリガーに対応します。 この場合、VCR チャンネルの操作はVCRのトリガーインパルスにのみ対応します。 従って、キーボードからの操作など、全て無視されますのでご注意ください。

4-2 アラーム

この項の詳細については、お問合せください。

10

5. OSM(オンスクリーンメニュー)設定

マトリックスは、ビデオ出力画面を使用して設定します。設定メニューから EXIT 後、 機器は、自動的にリセットします。再起動後、変更した設定が有効になります。本体 の電源を切っても、設定内容は保持されます。

5-1 設定モードに入る

メニュー画面を表示するには、本体の「SHIFT」と「ENTER」キーを同時に押します。 また、キーボードを接続している場合はその機種により異なりますのでご注意ください。 TMS-SCTB: 「SHIFT」と「ENTER」キーを同時に押します。

TPS-SCTJ:「SET」と「MON」キーを同時に押します。

5-2 メニュー画面

メニュー項目の選択には、該当する番号の番号キーを押します。 「SEQ」キーを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。他にメニュー設定で使用する キーは、「INC」「DEC」「ENTER」と「CLEAR」キーです。「INC」「DEC」キーは値を増減 する場合に使用します。

	I MAIN MENU メインメニュー
[MAIN MENU] [] [] Language, ENGLISH]	1. 言語: メニュー言語を設定します。 2~7: 各番号キーを押し、サブメニューに入ります。
1. Language: Exolision 2. System configuration 3. Cycle Sequences 4. Id Titles 5. Alarms 6. Passwords 7. Video Mask [SEQ. End	「SEQ」で、設定を保存しマトリックスを再起動します
SYSTEM CONFIGURATION 2]	<u>SYSTEM CONFIGURATION システム設定</u>
[]	6~8: 各番号キーを押し、サブメニューに入ります。
[] [] [[] [[]	「SEQ」で、メインメニューに戻ります。
[7.Coax Transm. / Aux Line] [8.Video]	
[SEQ.End]	<u>EXTERNAL TRIGGERS 外部トリガー</u>
[EXTERNAL TRIGGERS 2.6]	1. アラーム外部リセット:NEG
[1.Reset ext.allarmi: NEG]]	※外部トリガーを使用しない場合設定は不要です。
3.Usa videoregistr.: SI]	3. VCRの使用: YES
[4.111gger videoreg.: POS {]	4. トリガーVCR:POS
	トリガー検出は2通りの設定が可能です
[]	・POS設定ではトリガー信号の立ち上がりを検出
1	・NEG 設定ではトリガー信号の立ち下りを検出
	詳しくは、接続する機器のマニュアルを参照してください。

	COAX TRANSM. / AUX LINE 同軸重畳伝送/外部ライン
[COAX TRANSM. / AUX LINE 2.7] [マトリックスは、同軸ケーブルに制御信号を重畳することか
	す。また、外部ラインを使用してテレメトリーレシーバーとマ
	レクサーの両方を操作することができます。
	1. 同軸重畳
[] [SEQ.End]	2. 外部ライン用プロトコル設定
	3. ボーレート設定
	※Pelco-D/Exeo はドームカメラやレシーバー等に多く使用
	いるプロトコルですが、機種により動作スピードが異なりま
	に速すぎることもあります。スピード設定値を色々試してみ
	なスピードを選択してください。
[UTDEO 2.8]	※同軸重畳伝送は、MACRO プロトコルのみ使用可能です
[] []	<u>VIDEO</u> 映像信号
[1.System: PAL] [2.Interlaced: YES]	1. システム:PAL ※日本は、一般的に NTSC 信号です。
	2. インタレース:YES
i i	通常または、大きな文字を表示するには、NO に設定して
[] [SEQ.End]	しかし、画像圧縮モードが特殊なものやデジタルモニター
[CYCLE SEQUENCES 3]	は、YES に設定してください。
[] [1.Output 1]	サークルシーケンス(スイッチングシーケンス)
[2.Output 2]	任意のシーケンスを選択するには、1 または 2 を押してくだ
	「SEQ」でメインメニューに戻ります。
	<u>OUTPUT 1 シーケンスサブメニュー設定</u>
[] [SEQ.End]	各サークルシーケンス設定は 16 ステップあります。いずれ
[OUTPUT 1 3.1]	するカメラ(ビデオチャンネル)と表示する時間(秒)を設定し
[] [Step: Cam Time]	メニュー画面に表示されるのは、1度に4ステップですので
[> A: 1 2] [B: 2 2 Step:]	/「DEC」キーでページを替えてください。
[D: 4 2 DEC.Next]	「>」はカーソルです。「>」のある項目を設定できます。
[] [18.Camera	カメラの選択には、番号キーを押し、時間設定は「INC」/「[
[ENTER/CLEAR.Change Time] [SEQ.End]	ーを使用します。「SEQ」で前の画面に戻ります。
	TEXTS IDテキスト
[1D TEXTS 4]	各入カチャンネルには、最大 28 文字までテキストを入力で
[] [>1 Text 01]	「>」がある項目を設定できます。
[2 Text 02] [3 Text 03] [4 Text 04]	「INC」/「DEC」キーを使用し、文字を変更し、「ENTER」で確
[5 Text 05 -]	す。
[INC.Previous DEC.Next] [ENTER.Modify SEQ.End]	「SEQ」で、メインメニューに戻ります。

INE 2.7] .: NO 1	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
ACRO] 00]	す。また、外部ラインを使用してテレメトリーレシーバーとマルチプ
1	レクサーの両方を操作することができます。
1	1. 同軸重畳
1	2. 外部ライン用プロトコル設定
	3. ボーレート設定
	※Pelco-D/Exeo はドームカメラやレシーバー等に多く使用されて
	いるプロトコルですが、機種により動作スピードが異なります。時
	に速すぎることもあります。スピード設定値を色々試してみて最適
	なスピードを選択してください。
2.8]	※同軸重畳伝送は、MACRO プロトコルのみ使用可能です。
j 1	<u>VIDEO 映像信号</u>
1	1. システム:PAL ※日本は、一般的に NTSC 信号です。
1	2. インタレース : YES
1	通常または、大きな文字を表示するには、NO に設定してください。
1	しかし、画像圧縮モードが特殊なものやデジタルモニターの類で
3]	は、YES に設定してください。
]	<u>サークルシーケンス(スイッチングシーケンス)</u>
1	任意のシーケンスを選択するには、1 または2を押してください。
1	「SEQ」でメインメニューに戻ります。
1	OUTPUT 1 シーケンスサブメニュー設定
1	各サークルシーケンス設定は 16 ステップあります。いずれも表示
3.1]	するカメラ(ビデオチャンネル)と表示する時間(秒)を設定します。
]	メニュー画面に表示されるのは、1 度に 4 ステップですので、「INC」
p:] Previous]	/「DEC」キーでページを替えてください。
lext]	「>」はカーソルです。「>」のある項目を設定できます。
ime 1	カメラの選択には、番号キーを押し、時間設定は「INC」/「DEC」キ
i	ーを使用します。「SEQ」で前の画面に戻ります。
4]	<u>)TEXTS IDテキスト</u>
]	各入力チャンネルには、最大 28 文字までテキストを入力できます。
1	「>」がある項目を設定できます。
1	「INC」/「DEC」キーを使用し、文字を変更し、「ENTER」で確定しま
1	す。
Q.End]	「SEQ」で、メインメニューに戻ります。

farmers m				
CAMERA I	BAT I		4	- 11
[!
Text OI#				1
[1
[1.ABC	2.1	DEF	3.GHI	1
[4.JKL	5.1	INO	6.PQRS	1
[7.TUV	8.1	XYZ		1
(1
[ENTER.B1	ank	CLEA	R.Erase	1
[INC/DEC.	Other	char	acters]
[1
[SEQ.End				1
Lovercase	chara	acter	s:	
[1.abc	2.0	ief	3.ghi	1
[4.ik]	5.0	ono	6.pars	1
[7.tuy	8.1	XVZ		i
		-		
Numerical	/simbo	ol ch	aracters	:
[1.10	2.2	29	3.3.	1
[4.4,	5.5	5 -	6.6/	1
[7.7:	8.8	3<>		1
[ALARM NO	.1			5]
[]
[1.Type:	Nort	nally	Open	1
[2.Reset	: Cont	5		1
[3.Relay	activ	vatio	n: YES	1
[4.Buzze	r act:	ivati	on: NO	1
[5.Ackno	wledge	e: 1,	2	1
[6.Actio	n: CO4	: MO2	,R01:P03	1
[STREET, RATE			1
TNC Next	Alarr			1

[DEC.Previous Alarm [SEQ.End

	-
[ALARM NO.1 RESET	5.2
[1.Momentary: NO	3
2.Keyboard : YES	- j
[3.External : YES [
[Time: After 2 seconds	
[CLEAR.< ENTER.>	
[INC.Next Alarm	- 2
[DEC.Previous Alarm [SEQ.End	
	_
[ALARM 1 ACKNOWLEDGE	5.5
(ALARM 1 ACKNOWLEDGE	5.5
(ALARM 1 ACKNOWLEDGE [[1.Output 1: YES	5.5
(ALARM 1 ACKNOWLEDGE [[1.Output 1: YES [2.Output 2: NO	5.5
[ALARM 1 ACKNOWLEDGE [5.5
[ALARM 1 ACKNOWLEDGE [5.5
(ALARM 1 ACKNOWLEDGE [5.5
[ALARM 1 ACKNOWLEDGE [5.5
[ALARM 1 ACKNOWLEDGE [5.5
(ALARM 1 ACKNOWLEDGE [5.5
[ALARM 1 ACKNOWLEDGE [1.Output 1: YES [2.Output 2: NO [[[[[INC.Next Alarm [[]	5.5

CAMERA TEXT 1 カメラテキスト1

1行目は、テキストを変更するために選択したカメラが表示 されます、点滅している「#」は、文字が入力される位置を 示しています。

文字の選択は、携帯電話の文字入力に似ています。各番 号キーに左図のとおり、アルファベットが割り当てられてい ますので、入力したいアルファベットのある番号キーを、該 当の文字が表示されるまで押します。例えば、「S」を選択 するには、「6」を 4 回押します。「INC」/「DEC」キーを使用 して文字グループを選択することもできます。 「CLEAR」は最後の文字を消します。「ENTER」は挿入した文 字を確定します。

入力完了後、「SEQ」で前の画面に戻ります。

ALARM NO.1

アラーム設定の詳細については、お問合せください。

	HANGE PASSWORD パスワード設定
[]	パスワード変更画面に入ると、警告
[inserted and forgotten] [this setup procedure]	ので、よく読んでください。
[will be unaccessible] [and the system locked.]	もし設定したパスワードを紛失したち
[]] [Procede to change pud?]	ください。その際には、機器を工場と
[ENTER.Yes] [CLEAR.NO]	ます。全設定データが消えますので
	設定変更は画面に従って行ってくだ
[VIDEO MASK 7]	VIDEO MASK ビデオマスク
[Camera no.1]	接続されているカメラが固定カメラの
	にマスクをかけることができます。
[] [INC/DEC.Camera Change]	「INC」「DEC」キーを使用してカメラ
[ENTER.Show/Change] [[[[[[[[[[[[[[[[[[[押し、初期設定のマスクを表示し、
[552. End]	(\
[••••••••••]	次の画面は、設定例です。
[•••••••••]	左図の「*」は、カメラ1に対するマス
[**##******] [**##******]	「#」はカーソルです。
[CAMERA 1]	カーソルに移動は、以下のキーを使
[1-2 3:4] [Enter 4]	・ 1:左
[SEQ. Fine]	・ 2:右
	・ 3:上

「INC」「DEC」キーを使用してカメラを選択します。「ENTER」を 押し、初期設定のマスクを表示し、必要に応じて編集してくださ 次の画面は、設定例です。

設定変更は画面に従って行ってください。

左図の「*」は、カメラ1に対するマスクです。

カーソルに移動は、以下のキーを使用します。

4:下

※TPS-SCTJの場合は、ジョイスティックで操作可能です。 カーソルのある位置で、「ENTER」を押す度に、マスクが ON/OFFされます。「8」キーを素早く2回押すと、マスクは削除 されます。

パスワード変更画面に入ると、警告メッセージが表示されます

もし設定したパスワードを紛失した場合は、製造元にお問合せ

ください。その際には、機器を工場出荷状態に戻す必要があり

接続されているカメラが固定カメラの場合、表示したくない部分

ます。全設定データが消えますので、ご注意ください。

「INCI/「DECIキーを押し、他の入力チャンネルに対しても設 定を行ってください。

「SEQ」で設定を確定し、前の画面に戻ります

6. キーボードとスイッチング機能

このビデオマトリックススイッチャーは、前面のキーボードで全ての操作が行えます。

「MONITOR」キー:操作するビデオ出力を変更する場合に使用します。 ビデオ出力1を操作する場合:「MONITOR」キーを押しながら「1」キーを押します。 ビデオ出力2を操作する場合:「MONITOR」キーを押しながら「2」キーを押します。

▲ビデオ出力が VCR トリガーインパルスでプリセットされている場合、キーボード操作 や入力から出力への手動切替が行えません。ビデオ出力 2 を VCR トリガーで操作しない 場合はメニュー画面から外部トリガー設定で「VCR 使用」を「No」に設定してください。

- 「SHIFT」キー:「ENTER」キーとあわせて使用します。 メニュー画面を表示するには「SHIFT」キーを押しながら 「ENTER」キーを押します。
- 「ENTER」キー:「SHIFT」キーとあわせて使用します。また、メニュー設定の変更、確定 をする場合にも使用します。
- 「CLEAR」キー:キーボードでのリセットが可能なアラームを止める場合に使用します。 アラーム設定の詳細についてはお問い合わせください。また、メニュー 設定での削除、修正にも使用します。
- 「1」~「8」キー:前面キーボードでの操作時に手動でチャンネルを選択する場合に 使用します。
 - 例)・ビデオ出力1が選択されているとき
 - 「1」キーを押すと入力1が出力1に切り替わります。
 - ・ビデオ出力2が選択されているとき
 - 「2」キーを押すと入力1が出力2に切り替わります。
 - また、メニュー項目の選択や設定にも使用します。

「INC」「DEC」キー:設定値を増減する場合に使用します。

「SEQ」キー:選択中のビデオ出力をオートスイッチングモードにします。

⚠️特別なメンテナンスは必要ありません。

電源アダプターとケーブル類がオペレーターの作業の邪魔にならないように設置 してください。

8. トラブルシューティング

かれますの場合には、以下を参照してください。

症状	原因	対応
電源の LED が点灯して	電源がない	電源アダプターのプラグの接触
いない。		を確認してください。
		AC コードがコンセントに接続され
		ているか確認してください。
リモート操作が利かない	プロトコル設定エラー	キーボードとマトリックスのプロト
	ボーレート設定エラー	コル及びボーレートが一致してい
	配線ミス	るか確認してください。
		ケーブルの接続端子が正しいか
		確認してください。また、伝送距
		離 が 1200m(電 源 伝 送 時 は
		700m)を超えていないか確認して
		ください。
ビデオ出力2が切り替わ	VCRトリガー設定	ビデオ出力 2 が VCR トリガーに
らない		設定されています。メニューから
		外部トリガー設定で、「VCR 使
		用」を「NO」に変更してください。
外部ラインが反応しない	外部ラインが無効	外部ライン設定で同じラインに接
	キーボードとマトリックスのプ	続されているマトリックスとレシー
	ロトコル設定エラー	バーのプロトコルとボーレートを
	配線ミス	確認してください。
		それぞれの機器が MACRO プロ
		トコルと同じボーレートを有してい
		ますか。
		設置の章で、外部ラインの結線
		を確認してください。
画面が真っ黒で文字も何	サークル設定エラー	シーケンス設定で、入力されてい

^{7.} メンテナンス

も表示されていない	何も入力されていないチャン	るチャンネルを選択しているか確
	ネルを手動で選択した	認してください。
		入力されていないチャンネルを手
		動で選択した場合、画面は真っ
		黒です。
自動シーケンスが登録し	シーケンス設定エラー	シーケンス設定で、設定内容を
たシーケンス設定と合っ		確認してください。
てない		
カメラ画像は出力されて	テキスト設定エラー	文字を入力しているかどうか、ID
いるが、文字が表示され		テキスト設定を確認してください。
ていない		
文字が表示されている	ビデオコード設定エラー	映像信号がPALかNTSCか確認
が、位置が高すぎる		してください。
もしくは低すぎる		PAL 信号が入力されているにも
		関わらず、NTSC が選択されてい
		る場合、文字位置は高くなりま
		す。逆の場合は低くなります。
OSM メニュー表示中、行	OSM ビデオ設定エラー	モニターによりますが、ノンインタ
が圧縮されて、画面半分		レースビデオ信号の場合、まれ
がゆがんでいる		に発生します。その場合は、「イ
		ンタレース」設定を「YES」にしてく
		ださい。通常のマトリックス操作
		には、何の影響も与えません。

9. 製品仕様

TMS-802

映像入力	8 BNC 1.0Vp-p 75Ω
映像出力	2 BNC 1.0Vp-p 75Ω
ビデオ帯域	6MHz
カット・オフ周波数	-3dB:9Hz
S/N 比	48dB@5.5MHz
リレー接点	50V AC 0.3A
インターフェース	1 15pin:アラーム
	3 RJ11:RS-485 入力 最大 2 台のキーボードによるリモート操作
伝送距離	シリアル RS-485 入力 : 1200m
	シリアル RS-485 出力 : 1200m
プロトコル(ボーレート)	Videotec(1200,9600)
	Macro(1200,9600,19200,38400)
	Pelco D(2400、4800、9600、19200)
設定	オンスクリーンプラグラム(英語、伊語、独語、仏語)
	最大 3 オペレーターによる操作可能(リモート 2、ローカル 1)
プライバシーマスク	ສຍ
使用電圧	DC12V
消費電力	15W
動作環境温度	0°C~45°C
外形寸法	W167xH147xD230mm
重量	1.8kg
材質	メタル
塗装	エポキシパウダー RAL7036
適合規格	CE:EN61000-6-3、EN60950、EN55022 classB、EN50130-4/FCC
付属品	DC12V 出力 1A 電源アダプター
	2 モジュラーケーブル、D-Sub15 コネクタ